

2024 年度管理責任者講習会・フォローアップ研修 アンケート結果（報告）

制度運営分科会
SIAA 事務局

日頃より SIAA の活動にご協力いただき、ありがとうございます。また、管理責任者講習会・フォローアップ研修にご出席いただき、ありがとうございました。

皆様にご協力いただいたアンケート結果を報告いたします。管理責任者の皆様が日々の業務で留意されていることやご苦労されていること、また SIAA へのご要望も踏まえ、今後の講習会等に反映していきたいと考えています。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

なお、皆様から頂いたコメントやご要望等の全てをアンケート結果に記載している訳ではありません。多くの方からのご意見等を中心に記載しております。ご了承ください。

また、アンケートには「景品表示法の基本的な考え方」のテーマに関する項目がありましたが、それらに対する皆様からの回答は、ご講演いただいた消費者庁様に報告しています。ご了承ください。

1. 参加者数とアンケート回答者数

参加者総数：318 名

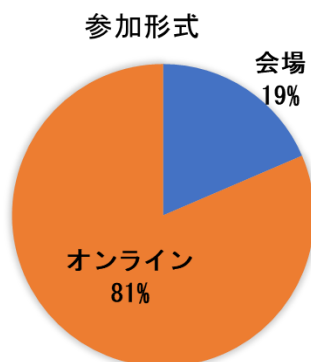
（内訳；AM の管理責任者講習から参加：147，PM のフォローアップから参加：171）

アンケート回答者数：169 名（53%）

2. 受講形式

参加者全体の 81%の方がオンラインでの参加、19%の方が会場参加でした。

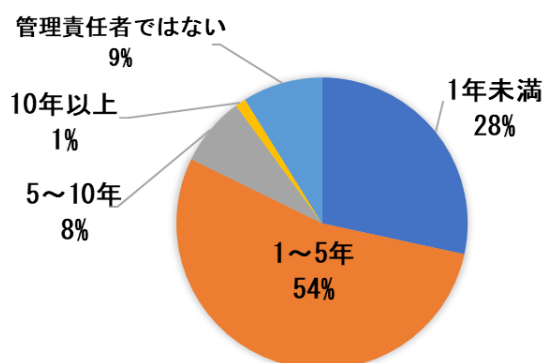
今回は東京開催のみでしたので、皆様の業務の都合もあり、オンライン参加率が従来よりも高かったと思われます。



3. 管理責任者としての経験年数

経験年数 1～5 年の方が最も多く、半数以上でした。1 年未満の方も 3 割近くいらっしゃり、管理責任者でない方にも参加いただきました。

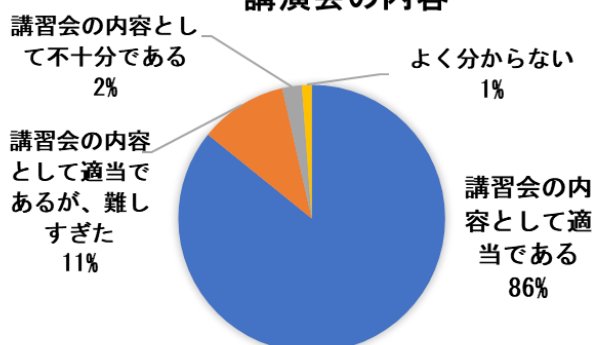
管理責任者の経験年数



4. 講習会の内容

講習会の内容が「適当である」との回答は 86%、「適当であるが難しすぎた」が 11%で、97%の方から適当とのご回答をいただきました。

講演会の内容



5-1. 4 項で「内容が適当である」理由

分かりやすい説明だった、管理責任者として必要な事項を理解できた、社内に展開したい情報があつた、法規制や実際の品質管理の例を聞けて参考になった等のご意見を多く頂きました。代表的な回答を次に記載します。

- ✓ 丁寧な説明で、ポイントが分かりやすかった。(多数)
- ✓ 管理者としての役割や定期的な確認、景品表示、品質管理について学ぶことができた。(多数)
- ✓ SIAA の最近の状況や活動のトピックスが分かり、有意義だった。(複数)
- ✓ 景表法に関する講演は貴重で、興味があつた。(複数)
- ✓ 会員企業の品質管理について知ることができ、参考になった。(複数)
- ✓ 自社内で伝えたいと思える内容が多かった。
- ✓ 管理責任者として必要な事項や SIAA に関する説明・講習が内容に入っており適している。
- ✓ 基本的なことを確認でき、実践的なことも学ぶことができた。
- ✓ 講演内容のバランスが良かった
- ✓ 定期性能チェックの意義、会員企業の取り組み等、自社製品管理にとっての情報が示され、良かった。
- ✓ 認証を受けたから終わりではなく、品質を維持することに共感した。
- ✓ もう少し技術的（例：抗菌のメカニズム）な内容があれば、よりよかった。

5-2. 4 項で「内容として適当であるが、難しすぎた」の理由

景表法の説明や品質管理事例が大変参考になった（前項）との意見がある一方で、専門性が高いとのご意見もありました。

- ✓ 景品表示法の考え方の講習は、少し難しいと感じた。(複数)
- ✓ 東洋インキ様の説明は、専門性が高いと感じた。(複数)
- ✓ 時間の中で情報量が多すぎた。ポイントだけで十分。全体に講習会の時間を短くするか、もっと多岐にわたる内容にして欲しい。
- ✓ SIAA の動向・状況説明はあつたが、それに対して管理責任者として具体的にどのような働きかけをしていけばよいのか？は、理解できなかった。

5-3. 4 項で「内容として不十分である」の理由

根本的な内容にして欲しい、企業 PR になりかねない、また管理責任者の実務に関した内容にして欲しい等のご意見がありました。5-1 項、5-2 項のご意見と併せて、今後の運営の参考にします。

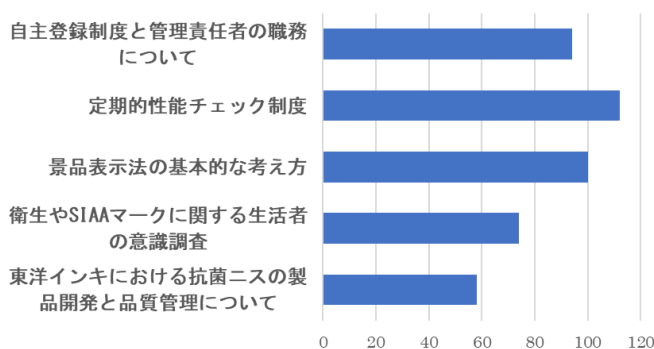
- ✓ 抗菌等について SIAA について根本的な事を知りたい。
- ✓ 後半の講習が企業ピーアールになりがちで、参考にならない。
⇒（事務局コメント）企業の品質管理事例の説明には、前提として事業内容や製品に関して、ある程度ご理解いただく必要があります。ご理解ください。
- ✓ 『管理責任者』がすべきこと、守るべきこと、注意すべきこと等、実務に関した内容がメインの方がいいかと思います。
⇒（事務局コメント）管理責任者の役割に関し、品質管理の考えを含めて説明いたしました。管理責任者の所属会社での実務や具体的なアクションは、所属する会社の組織体系、部署の方針や運用ルール等によって異なると考えられます。従って、実務的な内容（具体的なアクション等）を一概に決めることは困難であり、管理責任者の皆様のご判断で進めていただきたいと考えます。それを含めて、SIAA では「自主管理」をベースとしています。

6. 管理責任者として業務に役立つ と思えたテーマ（複数回答可）

午前中の講習を含めて、5 テーマ共に多くの方から、「業務に役立つと思えた」とのご回答をいただきました。

今後も会員の皆様にとって、役に立つと考えられるテーマを設定していきます。

管理責任者として業務に役立つと思えた
テーマ（複数回答可）



7. 6項で「業務に役立つ」と思えた理由

法令（特に景表法）や品質管理（事例）に関する内容は社内で共有できる、一般消費者の意識を知ることができ役に立つ、実務的な内容も多く知りたかったことが分かった等のご意見をいただきました。

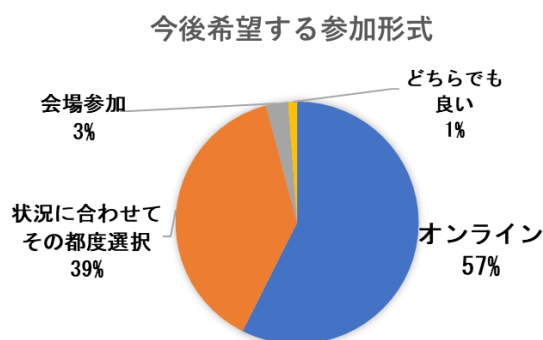
今後も皆様の業務に役立つテーマを設定したいと考えています。主なご意見は次の通りです。

- ✓ 特に景品表示法の説明は非常に参考になり、実践的なことが分かった。（多数）
- ✓ 定期的性能チェック制度に関して理解が深まった。（多数）
- ✓ アンケート調査により、消費者の意識や課題が分かった。（多数）
- ✓ 東洋インキ様のプレゼンは参考になった。（多数）
- ✓ どのテーマも管理者として参考になる内容で、持ち帰り、みずから見直ししたい。
- ✓ 生活者意識を通じて、自業界での取り組みについて検討したい。
- ✓ 法令面、品質管理の点が参考になった。
- ✓ 表示物、PR 方法についての考え方や、SIAA の認知度について認識を深めることができた。
- ✓ 気を付けるべき点、今後の動向や他社のものづくり、品質管理事例が分かり大変勉強になった。
- ✓ 管理責任者の業務に直接的に影響する内容だった。
- ✓ 考え方、事例など勉強になることを多く得た。
- ✓ 景品表示法、薬機法など法的に表現してはいけない表示の説明資料は、関連部門と共有して遵守していきたい。
- ✓ 今後の抗菌性についての品質の維持管理や社会における SIAA の認識意識知ることができた。
- ✓ 実務に直結する内容であったと思います。
- ✓ 管理責任者としての経験は1年未満であり、当該職務についての講習は有意義であった。
- ✓ 品質管理の大切さを更に感じた。
- ✓ SIAA の重要な活動のトピック、法規制に関する情報、実際の品質管理の例を網羅した形での講習会で非常に勉強となった。
- ✓ 今後自らが管理運営していく上で理解する必要があることがしっかり学べた。
- ✓ 自分が勉強したかったこと、疑問点を解決することができた。

8. 今後希望する参加形式

「オンラインが良い」が半数を超え、「状況に合わせてその都度選びたい」が39%、「会場参加が良い」が3%でした。

今後の講習会も会場とオンラインのハイブリッド形式で開催したいと考えています。



9. 今後講習会で取り上げてほしいテーマ

取り上げて欲しいテーマとして、試験方法等の技術情報、薬機法等の法規制、会員企業の事例や業界の動向等のご希望がありました。全てのご要望に対応することは困難ですが、多くの皆様のご要望に沿えるよう、今後もテーマを選定していきます。

なお、抗菌や抗ウイルスの試験方法等を含めた技術的な内容は、SIAA 技術講習会（旧試験管理士講習に代わる講習として検討中）のテーマとする予定です。準備ができましたら皆様に案内いたします。

主なご要望は次の通りです。

➤ 技術情報関連

- ✓ 抗菌・抗ウイルス性の試験方法について（複数）
- ✓ 抗菌や抗ウイルスの持続性（複数）
- ✓ 紙印刷物の試験方法（複数）
- ✓ 抗アレルギー加工（複数）
- ✓ 抗菌についてメカニズム
- ✓ 様々なウイルスについての性能結果
- ✓ 紙製品（段ボール、パッケージなど）の抗菌基準について
- ✓ 抗菌製品や抗ウイルス製品の実使用時の効果
- ✓ 浮遊するカビ菌の健康への影響
- ✓ スマートホン、PC 等の情報端末の抗菌品質について

➤ 法規制

- ✓ 薬機法などの法規制に関するテーマ
- ✓ 化学物質の規制
- ✓ 抗菌剤等の材料に関する各国の法規制状況について

➤ 今後の方針や展開

- ✓ SIAA の認知度向上への取り組みについて
- ✓ 最新の SIAA の動向、新技術について
- ✓ 禁則事項や協議会としての今後の行動指針について、より深く知りたい。
- ✓ 今回説明のあった定期性能チェック制度のような今後の変更事項。

➤ 会員企業の事例

- ✓ SIAA マークを表示することで売上や利益が増えたなど、販売面での成功事例を知りたい。成功体験の共有。（複数）
- ✓ 東洋インキ様のような、他社運用事例について継続実施して欲しい。
- ✓ 中小企業における事例
- ✓ 他社製品の活用事例（他社製品を学ぶことで新規商品開発の参考にしたい）
- ✓ 新たな抗菌製品の採用事例、SIAA マークの効果的な活用事例。
- ✓ SIAA 登録による日本企業の成功事例 中国台湾企業の成功事例等の紹介
- ✓ 剤メーカーの開発エピソードなどや試験所の紹介など

- ✓ エンドユーザーの SIAA 認知はまだまだ少ないと感じています。その上で他の会員業者様はどのような主案で抗菌製品・企画を普及させているのか？具体例を踏まえて教えて欲しい。
- ✓ 機能剤(抗菌、抗ウイルス、抗カビ、抗バイオフィルム剤)メーカーの剤開発方針や状況に関するテーマ

➤ **市場動向や消費者の意識**

- ✓ 業界や市場（消費者）の最新情報や動向、未来予想の展開
- ✓ 消費者は『抗菌効果』にどれぐらいお金を払っても良いと考えるか。（目に見えないモノにどれぐらいお金を払えるのかという意識調査）
- ✓ SIAA のマークが購買にどう影響を与えるか。
- ✓ 抗菌・抗ウイルス製品（最終製品）の市場規模の推移など

➤ **その他**

- ✓ 他団体とのロゴ併用に関する話題
- ✓ SDG'S との関係性
- ✓ 会員企業の動向
- ✓ 違反事例、各社が勘違いしていた事例、メーカーが見落とししやすい項目
- ✓ SIAA マークを取得していない抗菌や抗ウイルス等の製品について調査及び結果を公表して欲しい。TV や SNS で誇大広告をして売り上げを伸ばしている製品は沢山有ると思う。

10. 管理責任者として日頃心掛けていること

多くの方が、「品質管理」、「法令遵守」や「コミュニケーション（情報共有）」に関わることを挙げていらっしゃいました。また、SIAA マーク運用や顧客視点を挙げている方も複数いらっしゃいました。主なご回答は次の通りです。

➤ **品質**

- ✓ 品質の維持、管理（多数）
- ✓ 製造管理（複数）
- ✓ 品質、材料発注時の抗菌剤量
- ✓ 抗菌材料の保証期限の管理
- ✓ 製品の抗菌効果にバラツキがないように心掛けている
- ✓ 要求事項に合致した製品を使用すること
- ✓ 自己認証制度であり、品質の維持、管理における自らの責任の重さを痛感している。
- ✓ 生産実績が少ない場合の、再生産時の抗菌性評価など
- ✓ 適正な表示、生産管理、変更管理の徹底
- ✓ 仕様通りの生産、顧客満足につながる製品造り

➤ **コンプライアンス**

- ✓ 法令遵守、遵守状況の確認（複数）

➤ **コミュニケーション**

- ✓ 他部署（品質保証部、事業部、生産部門、関連会社等）との情報共有（多数）
- ✓ 情報発信をして、SIAA の会員企業である意識を社内で維持していく。
- ✓ 各種情報の周知徹底

➤ **表示**

- ✓ 表現の仕方について誤解させないようにしている。
- ✓ 正しい表示

➤ **SIAA マーク運用**

- ✓ SIAA マークの適正な運用
- ✓ SIAA に関する知識、情報

➤ **顧客対応**

- ✓ 取引先や取引先経由の消費者からの様々な質問に答えられるよう心掛けている。
- ✓ 新しい市場の状況の把握。お客様への案内を正しく行えるような営業環境づくり
- ✓ ユーザーに対して丁寧な説明を行い、受注につなげるよう活動している。

➤ その他

- ✓ 情報の update
- ✓ 社内で抗ウイルス試験を実施しているため、試験の正確性と安定性
- ✓ 高性能抗菌製品を低価格で供給したい
- ✓ 定期性能チェックの重要性
- ✓ 正直さ、正しく適正にすすめること
- ✓ 消費者視点に立ち、SIAA マークの価値をどう感じるかを日々考え続けている。
- ✓ SIAA に関わる人材を増やしていきたい
- ✓ SIAA への製品登録
- ✓ 製品開発と SIAA を紐付ける事

11. 管理責任者として苦勞していること、悩んでいること

日々心がけていることと同様の内容が多い印象でした。品質管理、社内外のコミュニケーション、法令遵守、商品開発等々、管理責任者の方々が前向きに考えている裏返しと思われました。

➤ 品質管理

- ✓ 品質管理（多数）
- ✓ 委託先（購入先）の海外メーカーの品質管理
- ✓ 機能の試験結果が、試験機関によってばらつきがある
- ✓ 不具合品が市場流出した際の対応
- ✓ ヒューマンエラーの撲滅
- ✓ 時間が経過した在庫品の抗菌や抗ウイルスの効果の持続
- ✓ 実使用環境での性能が現実的に把握できない（目に見えない機能で、生産状況の管理と定期性能チェックでの管理になってしまう）
- ✓ 耐久性関連の質問への対応
- ✓ 「施工品質の均一化」施工者による品質のばらつきを減らし、一貫した高品質なサービスを提供すること。
- ✓ 管理責任者の育成

➤ コミュニケーション（社内、顧客）

- ✓ 社内での説明、社内周知（複数）
- ✓ 商品の顧客へのアピール
- ✓ 営業方針との整合性
- ✓ 情報伝達（情報が正しく伝わっているか、相手が誤解していないか）
- ✓ 生産現場の対応（開発責任者として設計品質に不安はないが、生産現場でイレギュラーな対応が起きないか）
- ✓ 情報共有（社内の一部でしか共有出来ていない）
- ✓ 品質管理の重要性についての社内啓蒙
- ✓ 顧客へのアピール（如何にして売るか？ SIAA をアピールしてユーザーに魅力と感じて頂くか？ 認知して頂くか？ が課題）
- ✓ 関係部門への情報展開と運用

➤ 法規制の理解と対応

- ✓ 法規制の理解および周囲の理解
- ✓ 関係法令遵守

➤ 商品開発、販売

- ✓ SIAA に登録できる商品開発

- ✓ 抗菌製品の受注の伸び悩み
- ✓ SIAA マーク製品の販売

➤ その他

- ✓ 樹脂への練り込み製品を対象とした、簡便な抗菌性能試験方法があればよい。
- ✓ 問題点の解決方法
- ✓ 施工の際の作業員の認識と危険予知
- ✓ 社内浸透、売上収支バランスなど
- ✓ 費用対効果
- ✓ マニュアル作り
- ✓ 工程管理、原材料の仕入と需要のバランス
- ✓ 経験不足、知識不足（知識を得、実績を積むこと）
- ✓ SIAA 登録製品の受注があまりなく、SIAA 登録の必要性
- ✓ 様々なケースに対してルール通りにいかない場合も多々あり、商談の成約率も芳しくない。
- ✓ 使用実績が少なく、社内で浸透していかない。
- ✓ コロナ禍の終息とともに、SIAA への意識が薄れていないかという心配
- ✓ 担当者との知識レベルの違い（実務を行っているものの考えについていくのは大変）

12. SIAA の活動や運営についての要望等

認知度向上に関するご要望が多数ありました。SIAA の方向性、講習会、会員へのバックアップ等に関するご要望もいただきました。

「認知度向上」は中計方針にも挙げており、広報活動は SIAA 広報委員会を中心に、環境変化を踏まえた今後の方針や方策等を検討しています。

皆様から頂いたご要望を受け止め、可能なものは対応していきます。主なご要望は次の通りです。

➤ 認知度、知名度の向上

- ✓ SIAA マークの認知度向上、周知活動（多数）
- ✓ まだまだ知名度が低いので、メディア等で外部への発信をお願いしたい。
- ✓ もっと多くの人に認知していただけるようにメッセージを発信して欲しい
- ✓ 世の中の認知度アップを目指して頂く事が一番なので、引き続きお願いしたい。
- ✓ 世の中にもっと浸透するように、今後も頑張ってもらいたい。
- ✓ 認知度が低く、安心度もまだまだ低いと感じている。海外会員も含め、品質管理体制を徹底し、一般消費者に響く安心のお届けになるようお願いしたい。信頼を失うのは一瞬です。
- ✓ SIAA マークの周知活動を継続的にやり、ブランドイメージを高めてほしい。
- ✓ SIAA マークの価値向上、国際的知名度アップ
- ✓ SIAA の認知度が向上できるよう、微力ながら弊社製品販売活動を行っていきます。

➤ SIAA の方針、運用ルール等

- ✓ 今後の方向性を知りたい
- ✓ SIAA からのアンケートをきっかけに弊社内の品質管理体制を変更した。入会当時との変更事項などは早めに連絡して欲しい。
- ✓ SIAA マークの有効期間の表示
- ✓ コロナ禍が終了した今後の SIAA の活動内容

➤ 講習会、イベント等

- ✓ 管理責任者講習会以外でも、SIAA が開催する有益なセミナーが短い時間でもたくさん開催されると良い。
- ✓ 業界での会員企業とコラボしたイベントなど

➤ 会員のバックアップ

- ✓ 印刷物における抗菌印刷の認知度があがらないため需要が少ない。協会として、効果が実証できる数値や裏付けなど販売・認知度向上に向けた資料を作成して欲しい。現在、効果の裏付

けは第三者機関で、時間と高価な検証費が必要なので、インキメーカーなどで、簡易計測器などで効力の数値化ができる機器を開発するなど、会員のバックアップをお願いしたい。

- ✓ 自主登録制度であるため難しいと思うが、会員に本気で取り組んでもらうため、インセンティブやペナルティといった考え方も検討して欲しい。
- ✓ 品質、コンプライアンス、法令の関係性整理、それぞれを事業者が自己チェックできるようなガイドラインを発行していただけると助かる。

➤ 管理体制

- ✓ 安全な製品をお客様に届けられるよう、引き続き SIAA による材料・製品の管理をお願いしたい。
- ✓ 他社の管理不備によって SIAA マークの信頼に傷がつくと他社や SIAA 全体の製品の信頼にも影響する。コロナ禍を経て会員が急増したことで、そのリスクは高まったと感じている。会員の管理の厳格化は会員の負担増になるが、バランスを取りながら、維持管理に努めてほしい。

➤ その他

- ✓ 簡便な試験方法の開発
- ✓ 目に見えない「抗菌性能」の対価にお金を掛けようとする意識が当たり前になるような世の中にしてほしい。
- ✓ 建築士制度との連携（建築への抗菌施工は清掃業からの参入が多いが、清掃回数が減るという利益相反なところがあり、施工の精度を維持できていないケースが多々ある。SIAA の信用性にもかかわり、建築サイドとのコンタクトを深めて欲しい。）
- ✓ 講習会の時間が長い気がする。16:00 くらいまでにしてほしい。
- ✓ 会員に耳をかたむけてすすめている現在のやり方で今後も問題ない。
- ✓ 【質問】定期的性能チェック制度について、2026 年 4 月新制度（海外含めた全会員対象：1,169 社）スタートに向けて検討されておりますが、チェック周期（1 巡する期間）は従来の 1 回／5 年でしょうか？
⇒（事務局回答）現在検討中であり、正式決定ではありませんが、5 年に 1 度の頻度を考えています。

以上